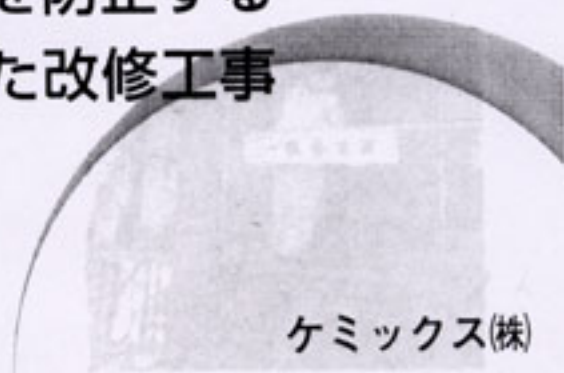


(RC造・厨房の場合)

## タイル目地からの浸水を防止する 無臭の材料が求められた改修工事



### 工事概要

工事名称：すし亭タイランド厨房防水工事

所在地：バンコク市郊外

用途：店舗

施主：ダイショウタイランド

工期：平成15年9月5～6日

施工面積：120㎡

施工部位：磁器タイル貼り床

### 工事詳細

施工仕様：「シビルマスター」塗布工法

- 工程：①床面洗浄  
 ②乾燥（完全乾燥は必要なし）  
 ③1回目塗布  
 ④2回目塗布  
 ⑤乾燥養生

### 部位詳細

同店舗は回転すしレストランで、店舗中央に厨房が配置されている設計となっている。厨房FLは客席FLより20cmほど高くなっており、厨房床にこぼれた水がタイル目地などから浸入し、客席に出てきて臭気をとめない非常に困っていた（図-1）。また、こぼれた水が下地コ

ンクリートの劣化を促進させるとの懸念も予想された。

### 仕様選択の経緯

客席への臭気をとめた漏水は一刻も早く止めなければならないが、短い工期と下地がタイル貼りの条件、臭気のある材料の使用禁止、さらに厨房内には固定された厨房機器や冷蔵庫などの重量機器が多数あり、通常考えられる防水工法では対応ができず、コンクリート保護機能のある無機質シリカ、シリコーン系浸透性吸水防止材の採用となった。

### 工事の特徴

上記のとおり施工には多くの条件が課せられた。よって特殊な使用方法ではあるが、タイル

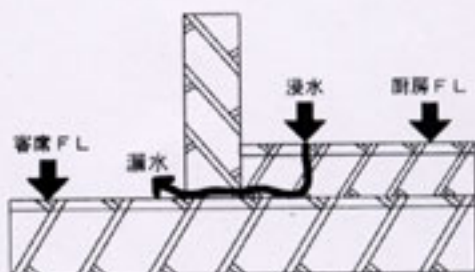


図-1 店舗断面図

## 浸透性吸水防止材の現状

目地および目地周辺のクラックや隙間から浸透させ、吸水性の低い磁器タイル以外の無機質部分すべてを吸水防止処理している。しかし本工法は、実際にはコンクリートと反応し結晶化して緻密なシリケート層を形成し、さらに表層に近い部分にシリコン層を形成する2層構造の防水システムになっているため(図-2)、本物件ではこれを1液化して施工することで工程を簡素化し、全面に塗布だけの施工で工期短縮や重量物の下、脚部分の防水を可能にした。



図-2 塗布後コンクリート断面図

### 仕 様

施工写真から判断できるように、重量機器は移動せずに施工を行っている(写真-1)。また、下地に溜り水が無い程度の湿潤状態であるなら施工は充分可能であり、工法の適応範囲が拡大されると思われる。施工完了後の散水試験の結果、漏水は全く無く、現在では毎日デッキブラシで床面の洗浄を行っているが、漏水は確認されず防水性能を維持し続けている(写真-2)。

### 今後の展望

現在上市されている浸透性吸水防止材は、大きく分けると無機系と撥水材系の2種類に分別され、適応部位や目的に応じて使用されているが、近年この手の材料の有用性が再認識され設計仕様への採用が増加している。しかし一部では誤った施工方法などにより、効果が十分に発揮できない現場も発生している。

今後はコンクリート保護などの使用目的別、



写真-1



写真-2

石材、レンガなどの施工部位別などの使用する目的別に専用の材料が開発され、多様化する需要に適應、採用されるようになってくると思われる。そしてさらなる努力を重ね、浸透性吸水防止材の普及と標準化に向けた一助となるようにしていきたい。

(代表取締役 三枝康朗)